

オモニ主日
説教

あなたを忘れない

<イザヤ49:15～16>

朴栄子牧師(全国教会女性連合会総務/豊中第一復興教会)



◆オモニのような神の愛

母親は子どもをよく観察しています。顔色や様子を見ただけで、調子が悪いのか、嫌なことがあったのか、すぐわかります。いたずらや悪さをしたとき、うまく隠したつもりでも、母親には通用しません。皆さんは、オモニのどんな姿を思い出しますか？

オモニの愛は本当に深いもの、ありがたいものですが、残念なことに、子どもを愛せない母親、見捨ててしまう母親もいます。言うに言われぬ事情があったのかもしれませんが。愛されることなく、憎まれ、見捨てられたのかもしれませんが。

神は「たとえ、女たちが忘れようとも、わたしがあなたを忘れることは決してない」と言われます。私たちはよく「父なる神さま」と呼びかけます。しかし、神は、母親のような側面も持っておられ、今日のみことばはそのことを示しています。

神の愛は、オモニの愛にもまさるほど強く深いものなのです。乳飲み子のそばにいる母のように、片時も離れず見守り、慈しんで世話をするだけでなく、なんと手のひらに刻んでくださるのです。一度刻んだら消えないものとして、神はあなたの名前を、その存在を手のひらに刻んでいてくださるのです。

さらに「あなたの城壁は、常に私の前にある」というのです。城壁で囲まれたエルサレムの町全体が神のものだ、という意味です。私たちに置き換えるならば、私とあなたの存在のすべて、歴史のすべてが、神の前にいつも置かれているということです。私たちは自分がいつどこに生まれ、いつどんなふうに死んでいくのかわかりません。しかし神は、私たちが母の胎内にあるときから知っておられ、人生のすべてを見てくださり、息を引き取る瞬間までそばにおられます。それどころか、その後のことも、御手の中にあるということです。

◆人生の危機

現代は高齢化社会、医療化社会です。多くの人が長生きし、ほとんどの人が病院で死ぬ時代になりました。ですから自分がどういう最期を迎えるのか、どういう医療を受けるのか、いろいろな選択をしなければならない時代になりました。日本だけではなく、先進国ではどこでも同じです。しかし、1970年ごろまでは、病や死ということについて考えたり、話題にしたりすることが避けられてきました。近年は積極的に考えようという傾向があります。その大きなきっかけになったのが、『死ぬ瞬間』(E・キューブラー・ロス著)という本です。スイスの精神科医が書いたこの本は全世界で読まれ、ホスピス運動が広がっていくきっかけにもなったので

す。

ロス博士の所に、あるとき神学生が訪ねてきました。「人生の危機」という題で論文を書くことになり、人生最大の危機は死だと考えたが、研究方法がわからない。そこで一番いいのは、最も死に近い末期患者に話を聞くことだということになり、博士に協力を要請したのです。1965年のことです。それから博士と学生は200人近い末期患者にインタビューすることになりました。最初はどの病院からも断られました。末期患者に死について聞くなんて非常識だ、容態が悪くなったらどうするというわけです。ところが、粘り強く協力者を募集したところ、ぜひ話をしたいという人が大勢現れたのです。

ロス博士と神学生、そして世界の人々は知りました。死を間近にしている人は、自分の死について、いのちについて、一番関心があるということ。しかし、家族や友人などは怖がって話題を避け、死期が迫っている人に「顔色がいいね」とか「元気になったら何をしようか」とかどうでもいい話ばかりしてしまうのです。なぜ、避けるのでしょうか。病人が一番知りたいのは、「死んだらどうなるのか」「どこへ行くのか」、あるいは「私にはあとどのくらい時間があるのか」といった誤魔化しようのない根本的な問いだからです。

◆神の前にある人生

私たちは、人生まだまだ先がある、時間があると、どこかで思っています。けれども、あっという間に歳月はすぎ、自分が何歳まで生きるのか、いつどんなこと起こるのかは、誰にもわかりません。

私たちがどこから来てどこへ行くのか。私たちのいのちの問題、死後の問題。これはいずれ避けて通れなくなる問題です。家族や親しい友人が直面することになるかもしれません。その時、この話題を避けて、適当な話題でお茶を濁すか、それとも大切な人の大切な問題にきちんと向きあうことができるのか。それは、私たちの日頃の生き方にかかってくるのではないのでしょうか。

私たちがたとえ神のことを忘れていても、神は絶対に忘れることはありません。その愛情は、母親の愛情のように、またそれ以上に深いのです。私たちにあたたかい愛情を注いでくれたオモニ。雨の日も風の日も、どんな状態の時にも支えてくれたオモニ。オモニを与えてくださった主に心から感謝をささげましょう。

そしてあなたの生まれる前から、この世に生を受けてから死ぬ時まで、また息を引き取った後まで、すべてがこの神に知られており、守られていることを覚えましょう。

＜関東地方女性会＞

第64回定期大会を開催

3月21日、品川教会にて、関東地方会女性連合会「第64回定期大会」を開催し、9教会から35名が参加した。

開会礼拝は、副会長・朴英遠長老（品川教会）の司会で、姜章植牧師（品川教会）が

「命の袋」（サムエル記上25：28～31）と題して説教した後、朴栄子牧師（全国女性会総務）の司式による聖餐式も執り行われた。第二部では金恵珍会長（川崎教会）による開会辞から始まり、李敏禮書記（西新井教会）が会員点呼をして出席を確認し、2015年度各部報告があり、予算案の審議などが承認された。第三部のミニコンサート（裴秉胃執事）では素敵な時間を過ごし、その後、郭恩珠牧師（泉の教会）の祈祷をもって終えた。

●郭恩珠牧師



地方会
関西

日本キリスト教団
大阪教区と合同礼拝

2月21日午後、日本キリスト教団天満教会で、在日大韓基督教会関西地方会と日本キリスト教団大阪教区との合同礼拝が捧げられた。2014年に続く2回目の合同礼拝である。関西地方会の宣教協力部（部長：朴成均牧師）と大阪教区の日韓宣教協約特別委員会（委員長：長崎由美子氏）が約1年間準備を進めてきたこの時間は、第一部の礼拝と第二部の交わりの時間に構成された。

第一部の礼拝は、大阪教区議長・小笠原純牧師の司会の下で、在日大韓基督教会副総会長・金必順牧師がガラテヤの信徒への手紙5：13～15によって「自由の子」という題で説教。両教会からの参加者130名が斎藤成二牧師の司式の聖餐に預かることで、キリストにあって一つであることを改めて確認した。献金は大阪におけるマイノリティー子供たちの教育を支援する市民の会に寄付することにした。

第二部のまじわりの時間では、大阪教区石橋教会金鍾圭牧師の司会で、「主の恵み」「きみは愛されるため生まれた」などをみんなで歌い、参加教会の紹介がなされた。最後に、面白い聖書クイズの時間で暖かく快い雰囲気で行われた。

このような合同礼拝は韓日両教会の宣教協約が文書上の協約にとどまらず、顔と顔を合わせ、信仰と経験を共有し、日本社会の中でキリスト者として共通の課題を確認して取り組む、実質的な宣教協力の基として評価できる。●李元重牧師



＜中部地方女性会＞

信徒共同研修会開催

主題「希望に生きる教会」のもと

3月21～22日、「希望に生きる教会」という主題のもと、井上一雄牧師（日本キリスト教会名東教会）を講師に迎え、あいち健康プラザにて中部地方会・中部地方教会女性連合会の信徒共同研修会を開催し、49名が参加した。

鄭仁仙勸士（中部女性連合会会長）の司会で開会礼拝が献げられ、中部地方会教育部長・金性済牧師による「地の塩、世の光」という題にてみ言葉が取り次がれた。井上一雄牧師は、神の祝福に仕え、希望に生きる教会という主題をもって、今日における教会のあり方や、これからの宣教の課題について、3回の講演を行った。今までの教会の歩みを顧み、これからの教会の使命について深く考えさせられる、恵み深いひと時が持たされた。最後に、宋福姫勸士（中部女性連合会副会長）

の司会で権潤日牧師（中部地方会副会長）による「御言葉を聞き、悟る者」という説教で締めくくられた。

●高誠牧師



地方会
西部

信徒修養会開く

「諦めない信仰」主題に



2月10～11日、兵庫県姫路市のニューサンピア姫路ゆめさきで、西部地方会信徒修養会を開催した。「諦めない信仰」という主題で、韓国・共に歩く教会の牧師である孟承柱牧師（JOYKOREA代表）を講師に招いた。開会礼拝は金承熙地方会長（岡山教会）が「キリストにおいて一つ」（エフェソ2：14～22）という題で説教。孟承柱牧師の第一講義は「獅子と熊の足爪を経験する世代」（サムエル上17：37）、第二講義は「神様を知らない世代」（士師記6：11～18）で、青年たちのためのキャンプの経験と証しが語られ、聖霊による野性と情熱をもって次世代に信仰を伝えていくことの重要性が述べられた。二日目の早天祈祷会では朴斗熙牧師（川西教会）が「幸せになるための条件」（ルツ2：1～4）、閉会礼拝では李重載牧師（西宮弟子教会）が「キリスト・イエスの立派な奉仕者」（Iテモテ4：6～10）の題で説教した。親しい交わりとみことばの恵みに溢れる1泊2日であった。●尹聖哲長老

【お詫びと訂正】3月に発行した『福音新聞』の号数及び題字横の発行日が間違っておりました。正しくは2016年3月1日（火）第750号です。お詫びして訂正致します。

5月の焦点 全国教会女性連合会

ナルドのつぼとオモニの信仰

いつも全国教会女性連合会（全国女性会）のため、お祈りとご支援をありがとうございます。在日大韓基督教会では毎年、母の日を「オモニ主日礼拝」としてきました。教会における女性、オモニたちの役割は大きなものです。

全国女性会は1948年に発足しました。当時、在日女性たちは差別と偏見の強い社会で貧しい生活をしていましたが、心をあわせて祈り、精一杯ささげて奉仕をしてきました。

私たちは、このようなオモニたちの信仰の遺産を受け継ぎ、次世代へ伝えていきたいと願っています。オモニ主日のテーマは、「平和・女性・信仰～歴史を刻む私たちの歩み～」です。

私たちにいま、できることは何だろうかと祈り求める中で、韓国のおモニたちから学びました。1973年に一人の女性から始まった祈りによる宣教運動「ナルドのつぼ」を、何年かあたため、試行錯誤して2013年春から開始しました。

宣教への情熱はあっても最前線に飛び込むことのできない女性たちが、小さなお金を集めて間接的に参与するのです。一人の女性が大切なつぼを割って高価な香油をイエス様に注いだ出来事をおぼえ、祈りと断食をもって主の大宣教命令をになう者とさせていただくのです。

みなさまのあたたかいご協力により、2013年6月から2015年5月末までに1,026,015円の尊いささげものをいただきました。このうち40%を国内外の社会・宣教団体へ、40%を地方会を通じて経済的に困難な教会支援へ、20%を女性会の働きのために用いさせていただきました。心より感謝するとともに、小さなからし種がやがて大きく成長することを夢見しています。

どうか今後とも、オモニ主日をおぼえ「オモニ主日献金」、また「ナルドのつぼ」へのご協力をよろしくお願いいたします。

●朴栄子総務



1965年



2016年

【社会支援の献金先】 セウォル号被害者支援／脱北者支援／ネパール災害支援／辺野古基金（普天間基地の辺野古移設に反対する基金）／ヘリ基地反対協議会（海上ヘリ基地建設反対・平和と名護市政民主化を求める協議会）／東北ヘルプ（被災者救援、政府や他宗教とも連帯）／エマオ（日本キリスト教団東北教区センター）／カリタスジャパン／プランジャパン（国際NGO「ネパールの女の子の早すぎる結婚防止プロジェクト」）／止揚学園（知能に重度の障害をもつ人たちの福祉施設）／さぼうと21（日本に定住するインドシナ難民、日系定住者及びその子弟などの自立を支援）／ふるさとの家／ジュメリーナ（フィリピンの女性の自立支援）／RAIK（在日韓国人問題研究所）／NCC（日本キリスト教協議会）／浪速教会「愛の家」／KCC／西南KCC

公 告

利害関係者および信者各位

本法人は、下記の不動産を担保に、教会堂新築にかかる費用として、下記金融機関より融資を受けることを公告します。

①土地 神奈川県横浜市中区打越39番 264.46㎡、
39番1 175.20㎡、39番2 153.55㎡

②建物 鉄骨造陸屋根 4 階建

③金融機関 かながわ信用金庫 長者町支店

④融資金額 1 億600万円

2016年4月15日

在日大韓基督教横浜教会

代表役員 李 明 忠

公 告

利害関係者および信者各位

本法人は、下記の不動産を「在日大韓基督教会福岡中央教会」の伝道の用に供するため、当法人の名義とすることを公告します。

①土地 福岡県福岡市中央区長浜三丁目44番3 86.60 ㎡
福岡県福岡市中央区長浜一丁目66番2 145.03㎡

②建物 鉄骨造陸屋根3階建 1階140.15㎡、
2階156.47㎡、3階104.64㎡

③資金 土地代金 5,000万円、建築費 1,115万円
自己資金4,500万円、献金7,050万円
借入金 福岡幸銀行信用組合3,500万円
建築基金1,100万円

なお、上記借入金には、担保はない

2016年4月15日

在日大韓基督教会

代表役員 金性済、書記 趙永哲

熊本大震災被災者のために祈り、支えましょう

そこで、王は答える。『はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』（マタイ 25：40）



▲熊本教会は地域の人々に食べ物を提供し、金聖孝牧師は教師でもあり、関りのある方々の避難所ともなっている

このたびの九州熊本を中心とする大地震の被災者の方々に、心よりお見舞い申し上げます。

日本は地震多発国と言っていいでしょう。数十年の間に大きな被害をもたらした阪神・淡路大震災、東日本大震災、そして今回の熊本大地震を、私たちは経験しました。私たち人間には自然災害を予知し回避することは困難です。ただただ自然の力の中で人間の力の弱さを感じずにはおれません。

私は阪神・淡路大震災時に大阪の建築設計事務所勤務していました。被災直後の神戸・芦屋を中心に、勤務していた会社が設計した建物を中心に被害調査をして回りました。ほとんどと言っていいほど建物が倒壊または傾き、またあちこちで火災のために焼野原のようになった光景が今でも心の中に残っており、今でも心を強く締め付けられる思いをいたします。設計を担当した建物に大きな被害がないことを確認したものの、私は複雑な思いでした。というのも私は阪神・淡路の大震災が起こる数カ月前から、設計事務所に留まるか、それとも神学校に入り献身するかで悩んでいたからです。建築の仕事に従事しながら人の大切な命を守ることができなければ、設計をする者がその役割を十分に果たしたとは言えない。人間の力には限界があり、自然の力の前には余りにも微力であることを痛感したのです。私は建築設計という仕事を生涯の生業とすることを止めることにしました。

今、私たち一人ひとり何ができるかを考える時です。現在、被災地においては初動支援に混乱があるものの、支援物資が届きつつあります。これからは中・長期的に、どのように被災地で不安と多くのものを失った被災者の方々を支えつつ、共にあゆむことができるのかを考えなければなりません。現在、支援活動を行なっている方々がより支援活動が効果的に行なわれるように私たちも協力していかなければなりません。

在日大韓基督教会の諸教会のみなさん！ 祈りに覚えることはもちろん、物心ともに、被災者の方々のために心をつなげて協力していきましょう。

●鄭守煥（社会委員長）



▲熊本市内の様子。古い木造建物の多くは破壊されている

熊本地震救援募金

○送金先：郵便振替口座 00130-9-159228
口座名称 在日大韓基督教会

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。

10名様～200名様のお会議及び宿泊研修（50名）も可能。

◆スペースYホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。

◆韓国文化教室（チャング・カヤグム・舞踊） ◆韓国語講座 ◆各種こどもクラス

◆YMCA東京日本語学校（3ヶ月～2年、短期研修）

関西◆にほんご教室（新規開講・募集中） ◆韓国民俗芸術科（舞踊・チャンゴ）

税込	平日	休・休前日
シングル	¥6,500	¥6,000
ダブル	¥10,500	¥9,700
トリプル	¥13,500	¥12,500
※朝食・コーヒー¥200（宿泊者価格）		

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/> *会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 ☎03-3233-0611

関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 ☎06-6981-0782